

研究課題名 HIV 感染症患者における潜在性結核感染症の診断

本調査研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可した研究であり、2018 年 8 月から 2020 年 3 月までの期間に千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科で QFT-Plus と T-SPOT 検査を受けた HIV 感染症の方が対象となっています。

この調査研究では、2 つの検査、QFT-Plus と T-SPOT を同時に施行して、HIV 感染症の方における潜在性結核感染症の有病率を明らかにし、日常診療における結核対策の位置づけを明確にすることを目的として 2021 年 3 月末までの予定で実施します。

当財団では QFT-Plus 検査のみ行います。

研究責任者 総合健診センター・センター長 鈴木公典